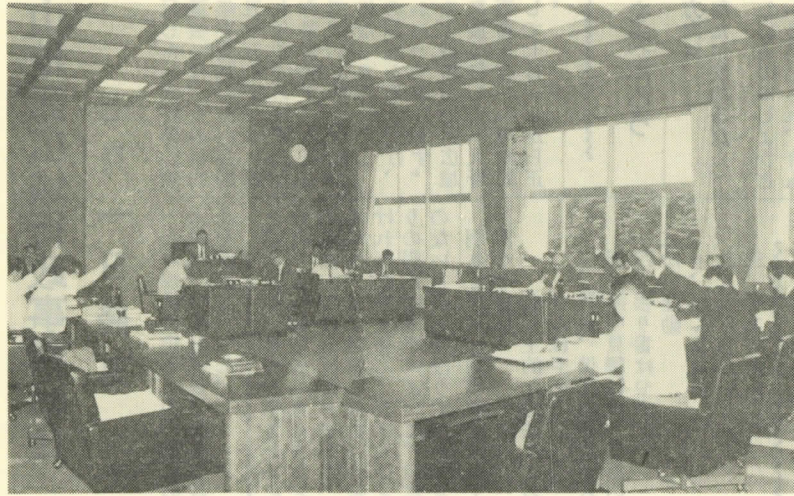


第65回 定例村議会開かる 村営スキー場など十九議案を可決

議長に北正一氏

副議長に吉川基氏



(六月定例会)



発行所
福井県大野郡
和泉村
下穴馬 ☎ 912-02
中竜 ☎ 912-03

(昭和47年5月1日現在)

村の人口	0人
出生	1人
死亡	6人
転入	19人
転出口	2,357人
総人口	1,230人
男	1,127人
女	103人
世帯数	651世帯

村の面積
332.60 km²

七月一日は
『国民安全の日』
生活のすべてに安全を

村議会第六十五回定例会は、去る六月二十一日招集され、村営スキー場特別会計など十九議案と報告二件を原案どおり万場一致可決しました。

また、新井議長、谷口副議長の辞職に伴う後任議長に北正一氏、同副議長に吉川基氏を選出しました。なお、議長、副議長の交替に伴ない各常任委員会の所属変更もあり、二十四日午後三時、三日間の会期を終り閉会しました。

主な案件は、次のとおりです。

- 一、和泉村税条例の一部改正について
- 一、一般会計補正予算案
総額五九三万七千円の補正
- 一、簡易水道事業特別会計補正予算案
総額六九八万三千円の補正
- 一、村営スキー場事業特別会計補正予算
総額四六一万四千円の計上
- 一、村営スキー場運営に伴う索道事業の経営について
- 一、工事請負契約について
林道荒島線、村道蛇鏡線など四件



北正一氏



吉川基氏

- 一、大野勝山地区広域市町村圏協議会の廃止と、これを発展改称した大野勝山地区広域行政事務組合の設立について
- 一、大野市衛生処理場の利用について
本村のし尿を大野市衛生処理場で処理することの契約。
- 一、教育委員会委員の任命について
- 一、議長、副議長、常任委員の選任など。

常任委員会

- 総務常任委員会
委員長 藤 沢 平 一
委員 副 島 弘
- 産業経済常任委員会
委員長 田 中 善 武
委員 新 井 一 雄
" 宇 野 一 雄
" 阿 部 三 郎
- 建設常任委員会
委員長 谷 口 武 雄
委員 田 村 重 次 郎
" 三 島 利 夫
- 大野勝山地区広域行政事務組合議員
(議長) 北 正 一
(総務委員長) 藤 沢 平 一

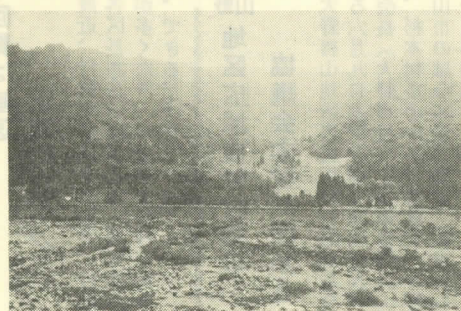
教育委員会の委員
後野 三 島 勇 (再任)

村営スキー場本決まり
角野スキー場 (仮称)

数年来の念願だった村営スキー場はこの程、用地関係もほとんど解決したので、いよいよ建設することになり、六月定例会で承認されました。

この角野スキー場(仮称)は、北向の斜面で、長さ、広さともに予定どおり完成すれば本真随一なるものと思われ、しかも国鉄越美線の開通と相まって、交通の便も最高で将来の発展が期待されています。

現在約八ヘクタールの整備を急いでいますが、年内には約三百メートルのリフトも完成し、この冬にはオープンすることになります。



(写真は角野スキー場(仮称)予定地)

◇一九三七年(昭和12年)7月7日、芦溝橋事件(支那事変)起こる

◆一九五四年 7月 1日 自衛隊発足

大野勝山地区広域行政事務組合

七月一日発足

昨年十月一日発足した「大野勝山地区広域市町村圏協議会」は、その目的であった昭和六十年を見越した「長期基本構想」、昭和五十五年までの「基本計画」昭和四十九年までの「実施計画」など、予定の作業が完了（本紙五月号参照）したので、いよいよ計画から実施に入ることになりました。

当面、ゴミ処理の問題を取り上げ、用地の取得にとりかかっております。

このため、従来の大野勝山地区広域市町村圏協議会を発展改称して「大野勝山地区広域行政事務組合」（事務局大野市役所内）として七月一日から正式に発足しました。

なお規約に定める組合議会の議員は、本村は、村議会議長と総務委員長の二人を選出しました。

と自覚ある一票を投ずるためには村政のあり方や候補者の考え方を的確に判断しなければなりません。そのためには、常に村政に目をむけ監視しなければなりません。選挙人ひとりひとりの明正な選挙によって、四年間に悔のない首長を選ぼうではありませんか。

① 明正選挙

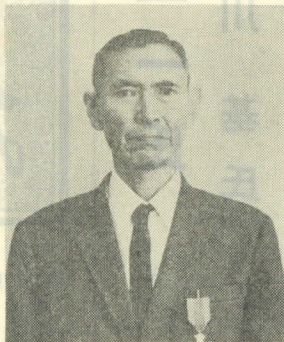
明正街道を突走ろう

村政の方向は、
あなたが決める!!

選挙を明るく正しいものにしよという運動は、古くから始められ、今もなお「あの手この手」による活発な推進運動が続けられており、表面においては、完全明正の気運が盛り上ってきつつあります。しかし「いざ選挙」となると、相変らず連反が統出し、ますます悪質化の傾向にあります。これは結局選挙人の政治に対する関心が薄いこと、そして選挙がいかに大切なものであるかという認識が浅いことに原因があると思えます。

今年の十月には、四年の村政の方向を左右すべき大切な村長選挙が予定されております。村政が良くなるのも悪くなるのも、主権者である皆さんの責任ある一票によって決まります。責任

- 一、非民主的な方法による地区推せんはやめる。
- 二、買収、供応を開放する。
- 三、陣中見舞はおくらない。
- 四、張り番はやめる。
- 三、ない運動
- 一、おくらない
- 二、もらわない
- 三、もどめない



宇野重豊氏に
銀色有功章贈られる

永年に亘り本村助役として精勤され

その間日本赤十字社和泉村副分区長として日赤事業推進に尽力された功績を認められ、この程宇野重豊氏に日本赤十字社福井県支部長から感謝状とともに「銀色有功章」が贈られました。

なお、本村としても日赤事業推進に尽力した功績により感謝状を受けました。写真は銀色有功章を胸に喜びの宇野重豊氏

第16回 高志社会福祉大会を 成功させよう

社会福祉の増進を図り、坂衝のとれた豊かな生活の実現をめざして、来る七月二十六日（水）に朝日中学校において、福井県高志福祉事務所主催、高志社会福祉協議会、和泉村、和泉村社会福祉協議会後援で開催されます。

この大会は、今後さらに激励する経済社会の中で、社会福祉対策、社会保障制度を積極的に活用しながら「福祉優先」をスローガンに、特に地域住民福祉のための住民運動を漸進的に推進し福祉活動への意欲の高揚を図るを目的として、本村福祉関係者二四〇名が参加し、本村福祉団体代表による意見発表がおこなわれます。本大会の目的達成のめたに一人でも多く大会に参加して下さい。またアトラクションには昇竜太鼓を予定しています。

苦情をなくし 明るい村づくり

行政相談制度は、創設以来十七年目を迎へており、年おって国民の評価と期待が高まっております。ではこの制度とは、道路、交通、教育、保健、衛生、福祉、公害、過疎等の問題に対する苦情あるいはご意見等を一つ一つ国民との関係行政機関との間に立つておっせんし、解決をはかるとともに広く

行政運営の改善のために寄与してきており、民主的な行政を推進するための歯車として、重要な役割を果しています。本村においてもこうした過疎、村づくり、道路、教育等の問題に対する苦情、ご意見等がありましたら、行政相談員の方へ電話、書面、口答えいれでも結構です。からどしどしお申し出下さい。

本村の行政相談員は
谷口豊成氏（上大納）です。
電話（中電局）七番

おうれんを植えよう!!

おうれんは古来から漢方薬としてよく知られていますが、全国生産量の七〇％を福井県で占め、その九〇％が奥越地方が生産されています。しかし、本村の生産量は、大野市管内に比べて非常に少なく増産が期待されています。おうれんは、山村から得られる最大の福産物で、しかもおうれんを栽培すると雑草などをとり除くため、立木の生長を助けることになり一石二鳥となります。なお、おうれん栽培を本業としている人もあります。



和泉農協のおうれん栽培（角野）

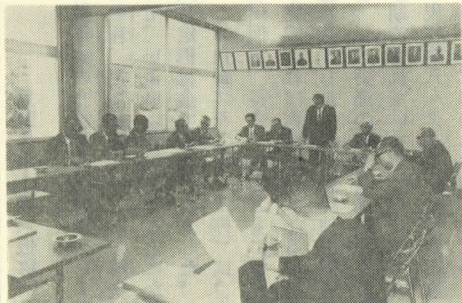
回覧は敏速、 正確に次へ!!

最近、行政事務量の増加で、役場から各区长あるいは各班長へ通知する文書が多くなり、お手数をかけております。できるだけ早くお隣りへ……

大野地区広域市町村圏の 協議会本村で開かる

大野勝山地区広域市町村圏協議会が去る六月九日日本村役場で開催され、寺島会長（大野市長）を始め高野勝山市長、杉本村長のほか、和泉村、大野市勝山市の議会議長、助役、教育長ら約二十名が出席されました。

議題に、従来協議会を発展改称して事務組合を発足（七月一日付）させることを万場一致可決しました。



協議会で挨拶する寺島市長

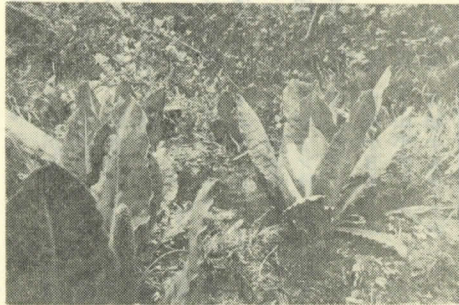
「家庭の日」目標
太陽の下で、
からだをきたえよう

ミズバシヨウの群落を発見

林谷の奥 海拔一、二〇〇米の高地

下半原、林谷の奥で水源地に近い標高一、二〇〇米の谷あいにて「ミズバシヨウ」の群落を発見しました。

林谷を車で四K程上り下車、森林組合職員の案内で急峻な林間を上ること約一時間、標高約一、二〇〇米の地点に二、三町歩の台地が開ける。その中の小さな谷あいのほとりに、オタマジャクシが群遊する湿地帯があり、その片すみに三ヶ所に分れてミズバシヨウの群生(約百株)を発見しました。



林谷のミズバシヨウ

この付近まで上ると、道中のアセも消えて、むしろすずしく、さすがに高原の感を深められる。

一行は、さらに上流でも一ヶ所を確保した。帰りはせせらぎに昨年放流したというアマゴの元気な遊泳を眺めながら下山しました。

ミズバシヨウ(水芭蕉)は、勝山市の加越国境取立山と大野市の倉又山で

確認されているが、本村では始めてである。ミズバシヨウは「サトイモ科」の多年草で、早春真白いチュウリップの花を大きくしたような花と草丈一メートルに達するカンナのような葉は、ミズバシヨウ特有の優雅な感じを与えてくれた。

なおミズバシヨウは高山植物で、標高千メートル以下の地点では、仮に根がついても二、三年で枯死するとのことで、数少ない資源でもあるので、大切に保護したいものです。

中旬に泳げます

朝日小学校プール着工

一校一プールをめざしてこのほど朝日小学校にもプールができることになり、朝日の電源開発(株)永久住宅横に、長さ二十五m、巾十m、深さは幼児を考慮して最深八十cmの手ごろなプール建設がすすんでおります。

夏の体力づくりをめざし、村教育委員会では、水泳教室を計画、楽しみながらも、水泳技術の向上をめざしていきます。

七夕

七月七日

七夕の伝説は、奈良朝時代に中国から渡ってきたもので、専ら女性や子供向き。

手先の器用な織女にやかるように、ササに五色の糸をさげて、裁縫の上達を祈ったり、七日の朝、イモの葉

にたまった露で、短冊に文字を書き、習字がじょうずになるように願ったりした。

江戸時代は殿中でもさかんで、へ七夕に虎の出そうな長局(つねね)などの川柳がある。

いまでは仙台、平塚、川越など七夕祭が有名だが、各地とも商店の客よせのようである。

交通安全

つゆどきの交通事故

うっとおしいつゆに入っています。自動車運転する者にとって、いやな恐ろしい季節です。降り続く雨が災した転落事故や、スリップ事故が多くなります。つゆどきの交通事故をなくすため、運転者も、歩行者も、じゅうぶん注意いたしましょう。

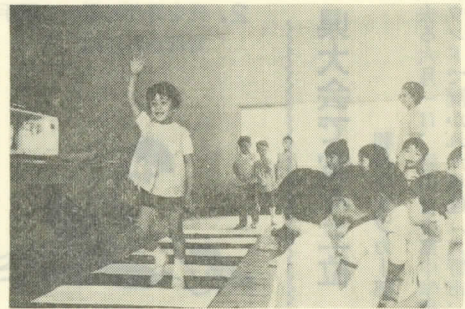
私は安全歩行をします

みんなに喜ばれた交通安全教室

子供に交通安全を守ってもらおうと去る六月十九日、二十日の両日、福井県警察本部から婦人交通指導員二名を招き、地元交通指導員と共に小学校児童や幼稚園児を対照に交通安全教室を開きました。

子供たちは、婦人交通指導員のやさしい指導の中にも、やはり指導員らし

いテキパキとした指導ぶりにすっかり溶けこみ、楽しいうちに、横断歩道の渡り方、自転車の正しい乗り方など交通安全の勉強をしました。



写真は大納幼稚園で横断歩道のわたりがたのこま

ふづき

(七月)

わが国では昔から七月を「ふづき」といいます。奥義砂という本に「七月織女(たなばた)にかすとして書(ふみ)をひらく故に文月という」とあります。またおとなりの中国では、七月七日

に書物の虫ほしを行事としていたことから、そのことがわが国に伝えられて七月の呼びなを文月(ふづき)としたものといわれています。

そのほか、七月月とか、女郎花月(おみなえしづき)あるいは、七月月(たなばたつき)などの呼び名もあるようです。

「得手勝手」

「ボヤボヤするな。どこに目をつけてやがる」横断歩道を渡る女性の前で急停車した車からどなり声があつた。驚いた女性は顔を真赤にして足早に去って行った。これを見て何と乱暴な運転者もあるものと思った。またそれと反対に横断歩道前で車が急停車、五、六人の若者たちが横断を初めていた。声高に話をしながら、ゆっくりと渡ってゆく待っていた車はクラクションを鳴らす。「うるさいブーブー鳴らすなこのガキ」などと口々にいいながら足を早めるもなくゆっくりと歩いて去った。どちらも勝手な話である。最初の運転者も歩行者になることもあるだろうしあとの歩行者の中にも運転をする人もきつといるに違いない。それぞれが時間的にも急いでいたり、とにかく理由もあつたろうが、どうも相手の立場や思いやりが欠けているのではなからうか。社会には、やはりいろいろの約束事がある横断歩道を人が通れば車は止まる。だから安心して歩ける。横断歩道を歩く人はできるだけスムーズに渡り終わる、だからお互に気持がよい。それを自分だけ勝手な事をしては気まずい思いや混乱も生れてどうしようもない自己中心的な考え方に加わりやすい私達、すべての人が今一度それぞれ務めの中で得手勝手なもの考え方や行をしていないかを見つめ直してみたいと思う。

NO52 オヤジ

山みみのる

六時半前
この集まり

早かったわ

おれは山みみのる

おれは山みみのる

おれは山みみのる

◇ 一八五三年 7月 9日 米使ペルリ浦賀に上陸

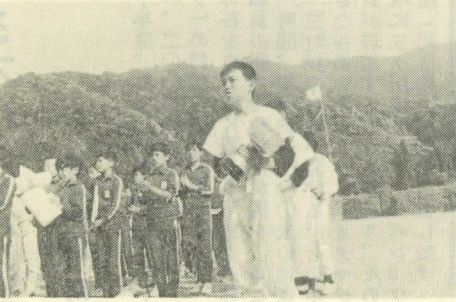
優勝大納小Bチーム

スポーツ少年団
ソフトボール大会

梅雨のさ中というのに、絶好の晴天にめぐまれ、朝日中グラウンドに村内三小学校下六チームが参加して和泉村スポーツ少年団ソフトボール大会が開催されました。

大人ならヤジがとびそうなむづかしい判定も、審判の判定どおりに従い、楽しい美しい試合の進行でした。しかし優勝戦ともなると、さすがに堂に入ったもので、ダブルプレーを披露したり、守備のみだれやホアボールが多くなると、タイムをとりピッチャーマウンドにかけより肩をたたき合いながらはげましあうシーンは「大人顔まけ」の名演技?でした。

- 一位 大納小Bチーム
- 二位 下山小チーム
- 三位 大納小Aチーム



優勝杯を受ける大納小Bチーム

ソ連に行く

谷 秀明君
島田 博君

国際的視野で研修を深めてもらおうと、県ですすめている「訪ソ青年の舟」乗船者に応募し、この程本村では始めての海外派遣が決まりました。

谷 秀明君(下山)
シベリヤコース 8月13日
島田 博君(貝血)

スポーツ教室だより

◇朝日婦人卓球教室毎週(月金)
場所 朝日中学
左記場所に社会体育用として、卓球台二台を配置しました。

◇中電卓球教室毎週(月水土)
場所 中電会館

母の正しい姿勢

奈良女子大倉富先生来村

朝日小学校PTAではこの程、奈良女子大学教授倉富先生を招き「子供の見方育て方」と題して講演会を開きました。

この日も「親は子供から一歩下って相対するように」、しつけによって親子の会話を作り、子供自身が目標をもって勉強を進んでするように」、「どんな本でもよい、本にしたしむ習慣をつくるように」、また、子供が何でもないときはきびしくしつけ、子供が困った時は暖かく迎えてやるように「なご、いつも私達がまんねり化して、気づかないところを実例を上げてご講義下さいました。」

倉富先生を囲んで熱心に講義を受ける朝日小PTA会員

水泳の事故を防ごう

ことしも水泳のシーズンを迎えました。水泳は夏の最も健康的な楽しいスポーツですが、一方、毎年尊い生命が失なわれるといういたましい事故が発生しています。川遊びに特に注意しましょう。

水を吐かせる時



1、腹部にひざを当てがいがい手で圧迫



2、枕を胃部に置いて両手で背部から圧迫

県大会で堂々三位

朝日中サッカー部

去る六月一日、勝山市中部中学校グラウンドで開かれた奥越(大野市、勝山市、和泉村)中体連サッカー大会で見事「優勝」(大納中も二位に入る)の朝日中サッカー部は、さらに六月十日、県中体連春季選抜サッカー大会に

知恵の輪

(会場武生一中)奥越(三市村)を代表して参加しましたが、県下各地区から選ばれた八校と戦い堂々三位に入賞「和泉の朝日中学校」の名を県下にひろめました。

先日、旅行のとき知恵の輪を買ってきた。子供の時分やったのが思い出されてなつかしかった。売っていたおばさんは、いとも簡単に輪をはずしたが、いざ自分でやってみると、なかなかむずかしい。知恵の輪も昔よりずっと複雑になっているようだ。

どう見てもはずれそうにない。しかし売っていたおばさんは確かなはずし方である。はずれそうにない仕組からくりである。だいたい時間をかけて、そのからくりがわかる。同僚の頭を悩ましてみた。じっと見つめる人黙って真剣にくるくるやる人、こうすればできる、ああすればはずれるというだけいう人、はじめからその気力がなく俺はこんなことはきらいだと相手にしない人、人間模様の縮図である。こんなものをつくったり考えるやつは、余程のヒマ人か、ひねくれ者だとか誰かがいった。しかし、それ程世の中も自分もすなおではあるまい。

自分で自分がいやになる程毎日同じようなことをくりかえしている。そんな中であって偶然ではない。必然に何かを求めている自分に気づき、ハッ!!とすることもあつた。

人間は感情の動物である。顔の違ふとおりの心も違ふ。しかし、そのなかに世情の風にかからず、相入れ合うところに楽しさにもじみでてくるのではなからうか。